

②支援者について

ア) 支援者の総数および人数内訳 (問 4)

■ 支援者の総数

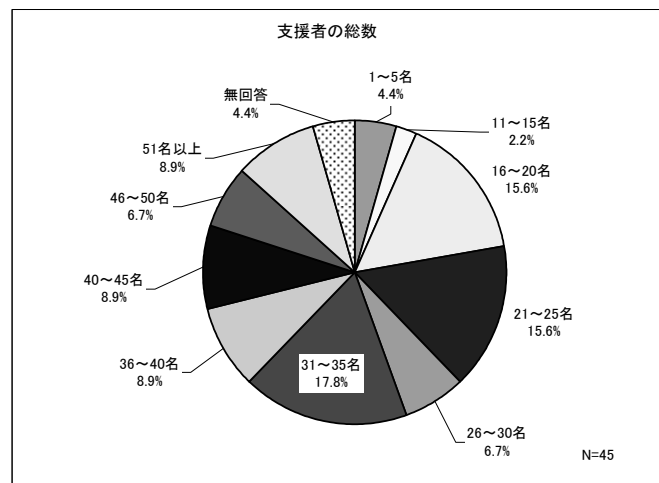
<犯罪被害全般>

支援者の総数は、「31～35 名」が 8 件 (17.8%) と最も多く、「16～20 名」が 7 件 (15.6%)、「21～25 名」が 7 件 (15.6%) と続いた。「1～35 名」の合計は、28 件 (62.2%) と 35 名以下の団体が半数以上を占める。

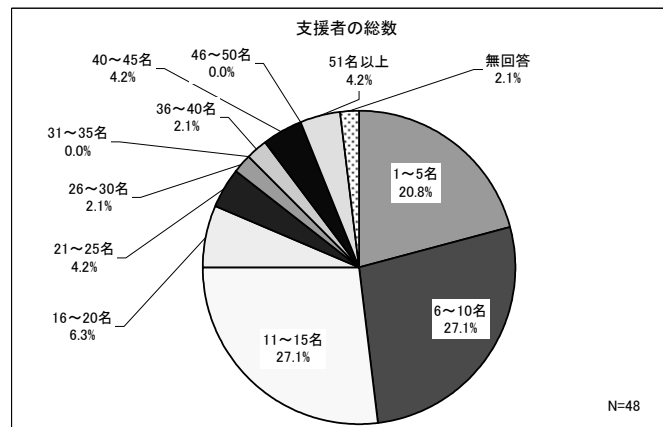
<性暴力・DV 等>

支援者の総数は、「6～10 名」、「11～15 名」が共に 13 件 (27.1%) と最も多く、「1～5 名」が 10 件 (20.8%) と続いた。「1～10 名」の合計は、23 件 (47.9%) と 10 名以下の団体が約半数を占める。

<犯罪被害全般>



<性暴力・DV 等>



■ 支援者の性別・年齢別人数

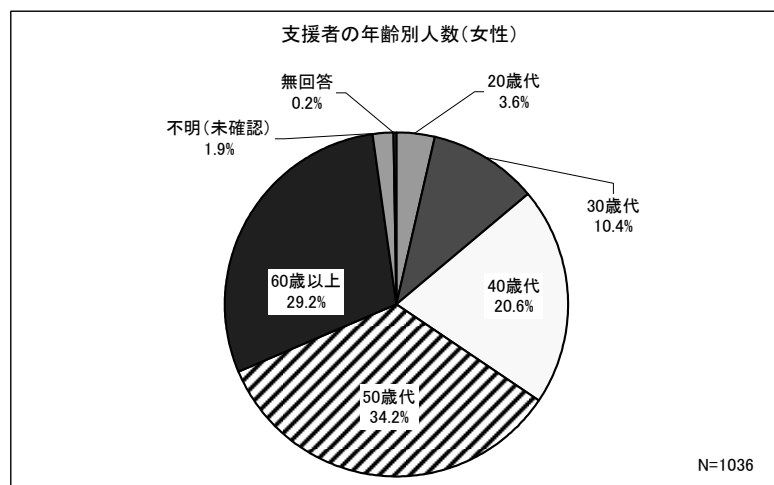
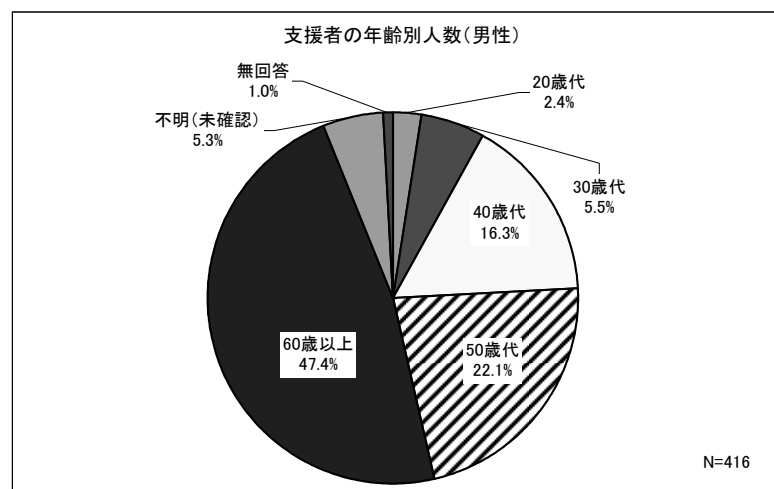
<犯罪被害全般>

男性の年齢別人数は、「60歳以上」が197名（47.4%）と半数弱を占める。女性の年齢別人数は、「50歳代」の354名（34.2%）が最も多く占める。

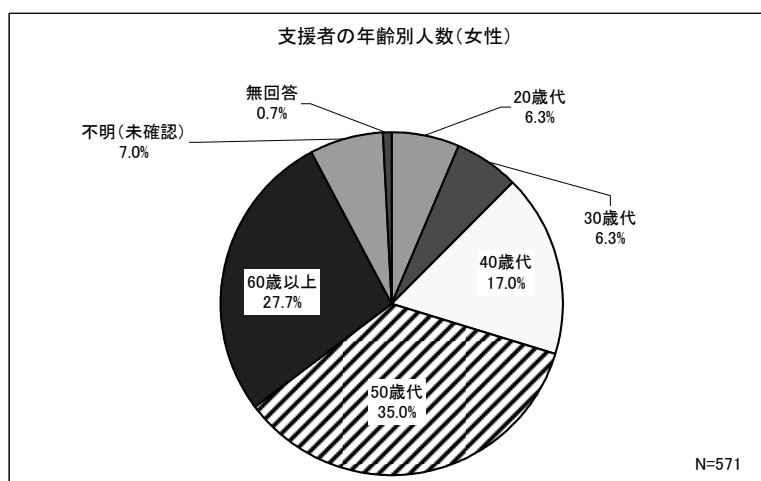
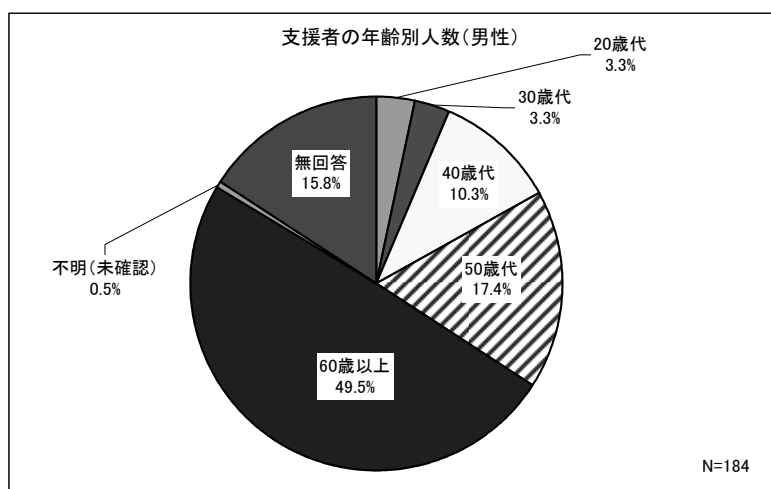
<性暴力・DV等>

男性の年齢別人数は、「60歳以上」が91名（49.5%）と半数弱を占める。女性の年齢別人数は、「50歳代」の200名（35.0%）が最も多く占める。

<犯罪被害全般>



<性暴力・DV等>



■ 支援者の男女比

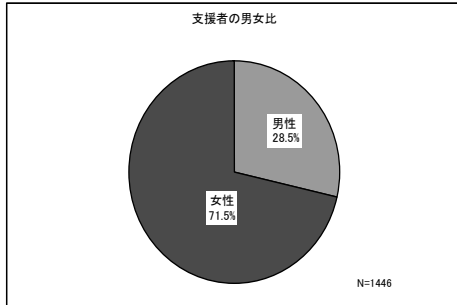
<犯罪被害者全般>

支援者の総数に占める男女比は男性の人数が 412 名 (28.5%)、女性が 1034 名 (71.5%) で約 3 対 7 である。

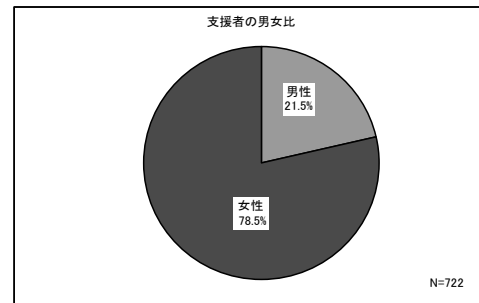
<性暴力・DV等>

支援者の総数に占める男女比は男性の人数が 155 名 (21.5%)、女性が 567 名 (78.5%) で約 1 対 4 である。

<犯罪被害者全般>



<性暴力・DV等>



■ 支援者の雇用形態別人数

<犯罪被害全般>

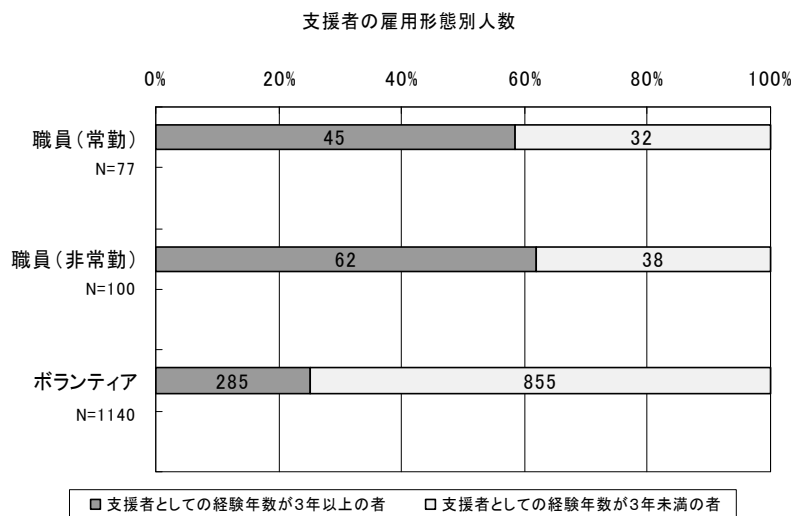
「職員（常勤）」および「職員（非常勤）」のうち「支援者としての経験年数が3年以上の者」は、それぞれ45名、62名であり、それぞれの総数に対して58.4%、62.2%を占める。

一方、「ボランティア」のうち「支援者としての経験年数が3年未満の者」は、855名であり、ボランティア総数の75.0%を占める。

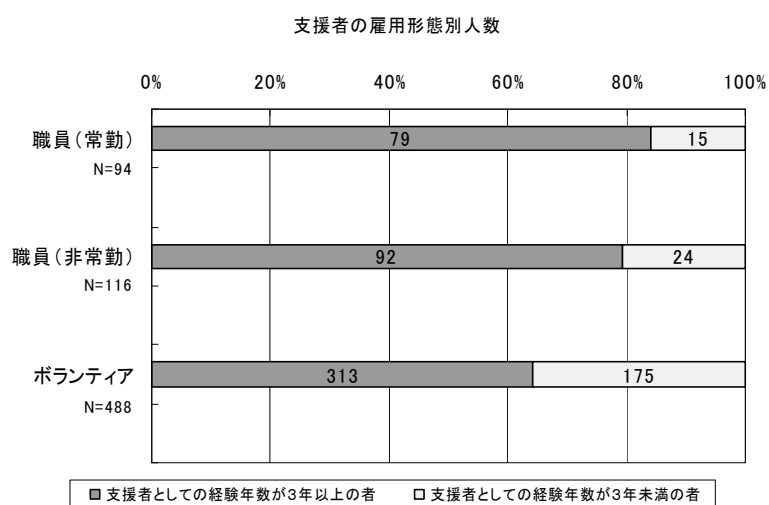
<性暴力・DV等>

「職員（常勤）」、「職員（非常勤）」および「ボランティア」のうち「支援者としての経験年数が3年以上の者」は、それぞれ79名、92名、313名であり、それぞれの総数に対して84.0%、79.3%、64.1%を占める。

<犯罪被害全般>



<性暴力・DV等>



■ ボランティアの職業別人数

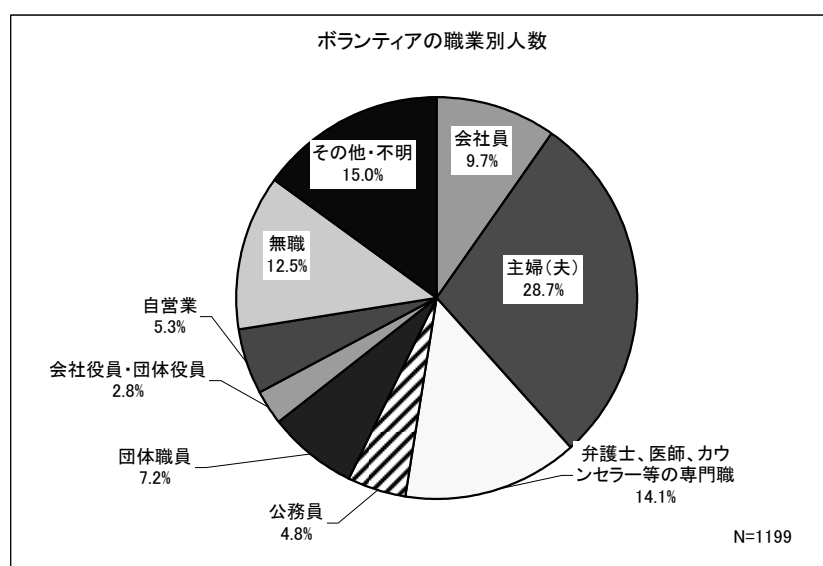
<犯罪被害全般>

ボランティアの職業別人数は、「主婦(夫)」が 344 名と最も多く、ボランティア全体の 28.7%を占める。

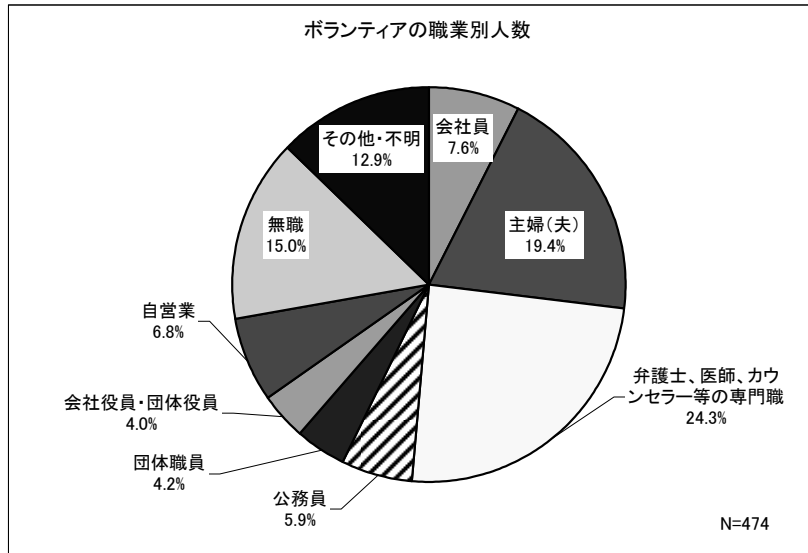
<性暴力・DV等>

ボランティアの職業別人数は、「弁護士、医師、カウンセラー等の専門職」が 115 名 (24.3%) と最も多く、「主婦(夫)」の 92 名 (19.4%) と続いた。

<犯罪被害全般>



<性暴力・DV 等>



イ) 支援者の業務内容 (問5)

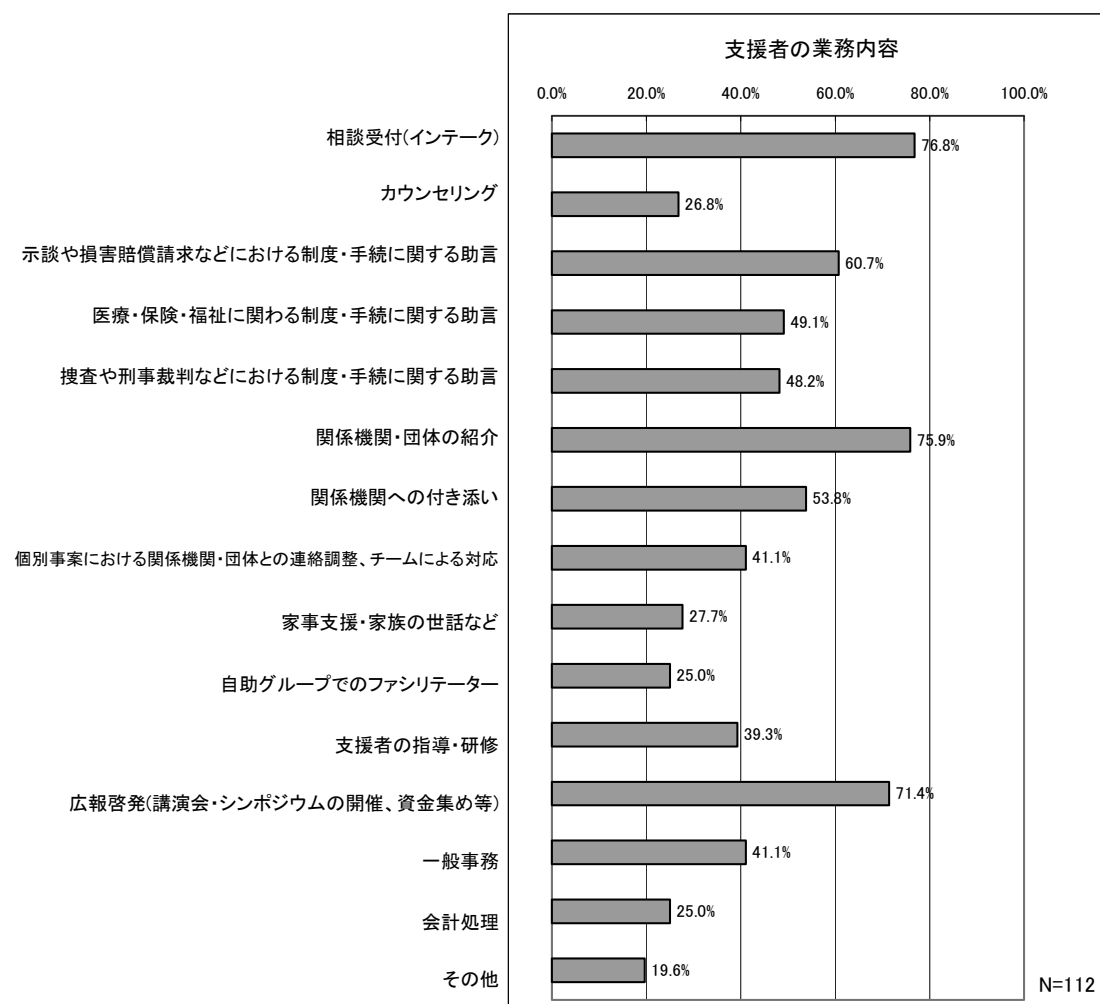
<犯罪被害全般>

支援者の業務内容は、「相談受付(インテーク)」が 86 件 (76.8%) と最も多く、次いで「関係機関・団体の紹介」が 85 件 (75.9%)、「広報啓発(講演会・シンポジウムの開催、資金集め等)」が 80 件 (71.4%) と回答数が多かった。

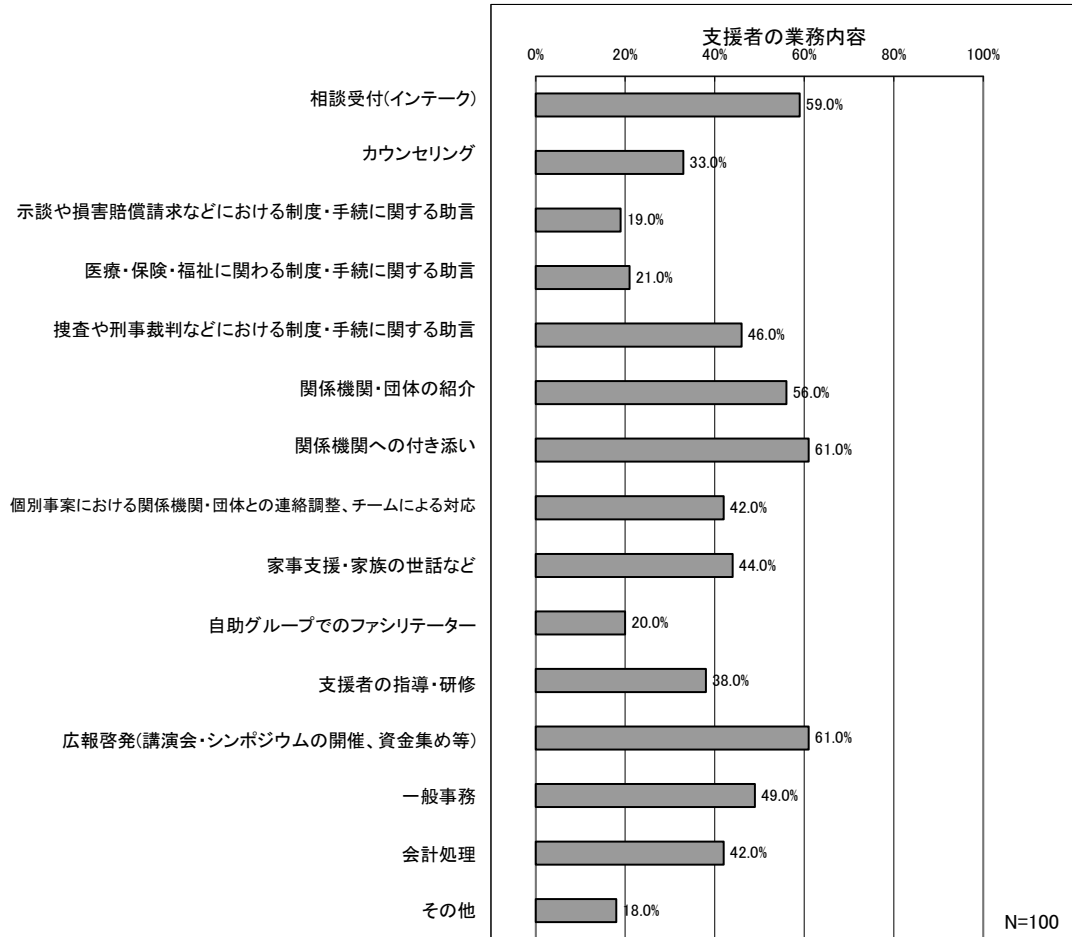
<性暴力・DV 等>

支援者の業務内容は、「関係機関への付き添い」と「広報啓発(講演会・シンポジウムの開催、資金集め等)」が共に 61 件 (61.0%) と最も多く、次いで「相談受付(インテーク)」が 59 件 (59.0%) と回答数が多かった。

<犯罪被害全般>



<性暴力・DV 等>



ウ) 支援者の職歴、資格 (問6)

<犯罪被害全般>

職歴、資格を有する者がいる団体は、職員（常勤）の場合は、「警察職員」が 11 件（24.4%）と最も多く、職員（非常勤）の場合は、「カウンセラー（臨床心理士等）」が 13 件（28.9%）と最も多く占めている。ボランティアの場合は、「医療従事者（医師、看護師等）」と「教員」が 31 件（68.9%）と最も多く、「カウンセラー（臨床心理士等）」が 27 件（60.0%）と続いている。

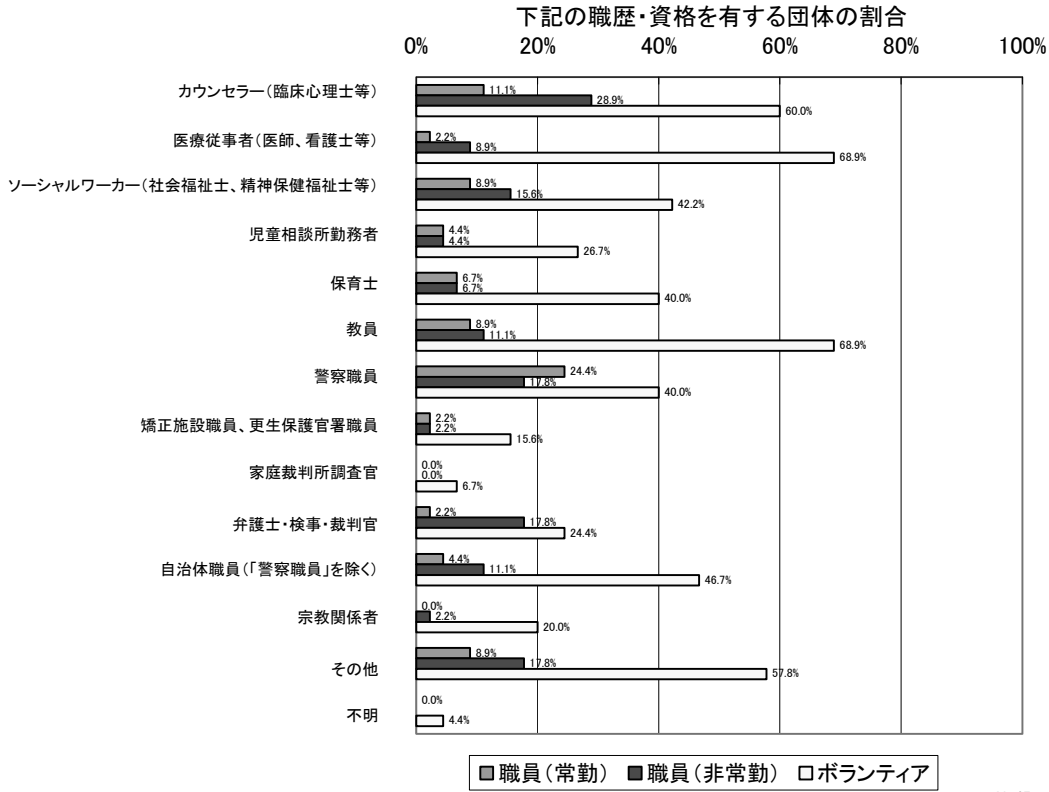
支援者の雇用形態別に職歴、資格を有する者の内訳をみると、職員（常勤）の場合は、「警察職員」が 18 名（33.3%）と最も多く、「その他」を除くと、職員（非常勤）、ボランティア共に、「カウンセラー（臨床心理士等）」が最も多い割合を示し、それぞれ 24 名（21.6%）、123 名（18.0%）となっている。

<性暴力・DV等>

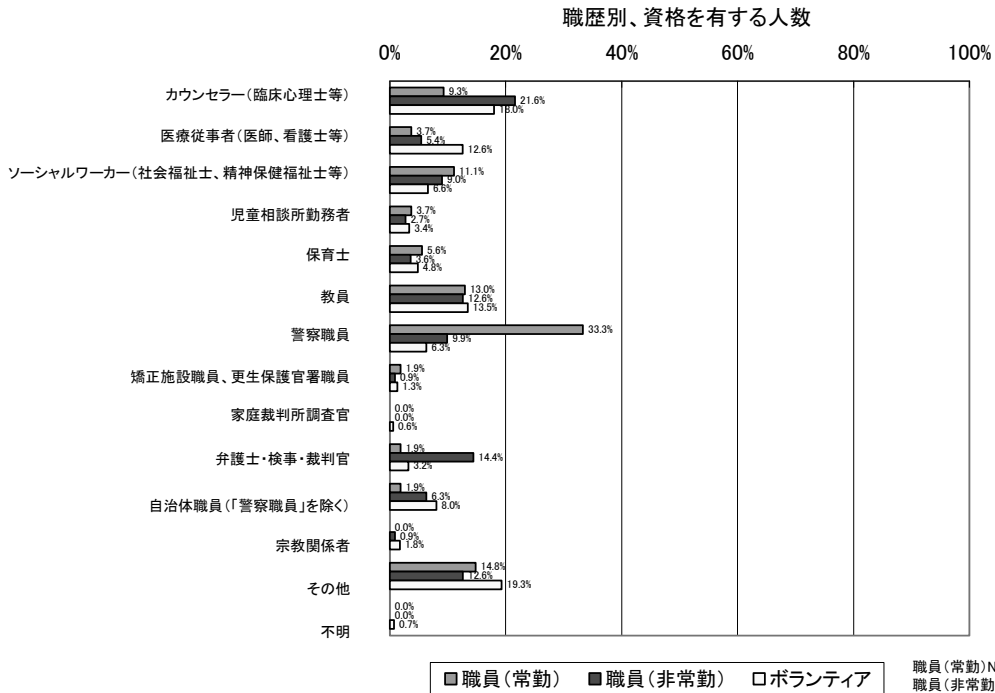
職歴、資格を有する者がいる団体は、職員（常勤）の場合は、「ソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士等）」が 9 件（18.8%）と最も多く、職員（非常勤）の場合は、「カウンセラー（臨床心理士等）」が 11 件（22.9%）と最も多く占めている。ボランティアの場合は、「カウンセラー（臨床心理士等）」が 19 件（39.6%）と最も多く、「ソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士等）」、「教員」が共に 17 件（35.4%）と続いている。

支援者別の雇用形態別に職歴、資格を有する者の内訳をみると、職員（常勤）、職員（非常勤）、ボランティア共に、「カウンセラー（臨床心理士等）」が最も多い割合を示し、それぞれ 27 名（33.8%）、25 名（28.1%）、50 名（17.7%）となっている。

< 犯罪被害全般 >



N=45



職員(常勤)N=54
職員(非常勤)N=111
ボランティアN=684

<性暴力・DV等>

